

内視鏡輸出、病院と連携

オリンパス、治療法も指導

アジア開拓

オリンパスは東大病院

大病院の藤城光弘消化器

例えば、内視鏡で映した

や海外の大手病院などと

内科准教授や、内視鏡を

画像の拡張倍率や光度を

組み、消化器内視鏡など

使った検査・治療に優れ

調節するといった基本的

の製品や治療技術を一体

る佐野病院（神戸市）の

な操作方法を上演し教え

でアジアに輸出する。オ

佐野寧院長、神戸低侵襲

リンパスの社員や各病院

がん医療センター（同）

の医師らが現地の医療機

の戎谷力消化器内科医師

関を訪れ、がんなどの診

らが企画した。

断技術や治療技術を指導

まず28日から30日まで

する。世界シェア7割の

上海の大学病院や大型医

消化器内視鏡を使いこな

学会で現地の医師や看護

せる技術を持つ医師を育

師らに、オリンパスの消

て、アジアなど新興国で

化器内視鏡などを使った

の拡販に結びつける。

大腸がんなどの診断技術

オリンパスのほか、東

や治療方法を指導する。

日本経済新聞

2014年（平成26年）8月28日（木）

る。今後3カ月に1回程度訪れ、将来はタイやマレーシアなど東南アジアでも訪問指導を実施する方針だ。

オリンパスは医療機器を購入する現地の医師との関係を築き、新興国での医療機器の拡販を急ぐ。